母娘
NTR
フーゾク
1
有機リンゴ

ご来店ありがとうございます
ああ…どうも
やっぱりまだ人少ない？
そうですねぇ厳しいですね…

新しい娘は結構入ったんですよ
ご覧になられますか？
どれどれ
ん？
この人…
いや…まさか…

その娘はもう三十代ですけど…美人でしょう？
しかも人妻なんですよ～どうですか？
入ったばかりでお客さんが最初の相手ですよ～
…嘘だろ…

おいっ
お前…鮭川だろ？
いやぁ懐かしいなぁ
？
え…誰？

熊野だよ覚えてないかぁ？
高校の一年の時一緒のクラスだっただろ？
熊野…
忘れる訳がない……

高校の時に俺を散々にいじめてた男だ…
そして俺が当時好きだった蜂谷さんを妊娠させて……
そのまま二人は学校をやめていった

ってことは あれが蜂谷さん …と娘…？

ああ… 鮭川くん…

いたわね そういや…

おいおい～ 酷い言い方 だなぁ

同じクラス だったろ？

娘ができて 学校辞めた時は 大変だったけど

まあなんとか 頑張って やってきてさ

今はスゲェ 幸せだよ…

やーっ

じゃあ俺たち これから映画 だから

機会あったら 飲もうぜ～

あ…

ああ…

だれ？ あのきもい人？

こら 愛美っ

お前のとこは どうなの？

いや… まだ… 独身で

マジで？ 早く家族 作りなよ

家族は いいもんだぞ

こんなご時世で旦那が職をなくしたみたいでして…
家族のために内緒で働きに来ているみたいですよ
いい話でしょ？
へぇ…
じゃあこの娘にしようかなぁ

あのヤロウ高校時代に俺になにしたか覚えてねぇのか？
家族を作れだと？ふざけやがって…

ご…ご指名ありがとうございます
やっぱり蜂谷さんだ
再会した俺のことも忘れてるな…

ごゆっくりどうぞー

ドポン ドポ

あの…まだ入ったばかりで慣れてないのですが…

よ…よろしくお願いします

いえいえ…

蜂谷さんとヤれるだけでうれしいですよ

!?

な…なんで私の旧姓を？

わからないですかぁ？

少し前に再会したでしょ？

え？

……あっ あなた 鮭川くん!?

やっと気付きましたか…

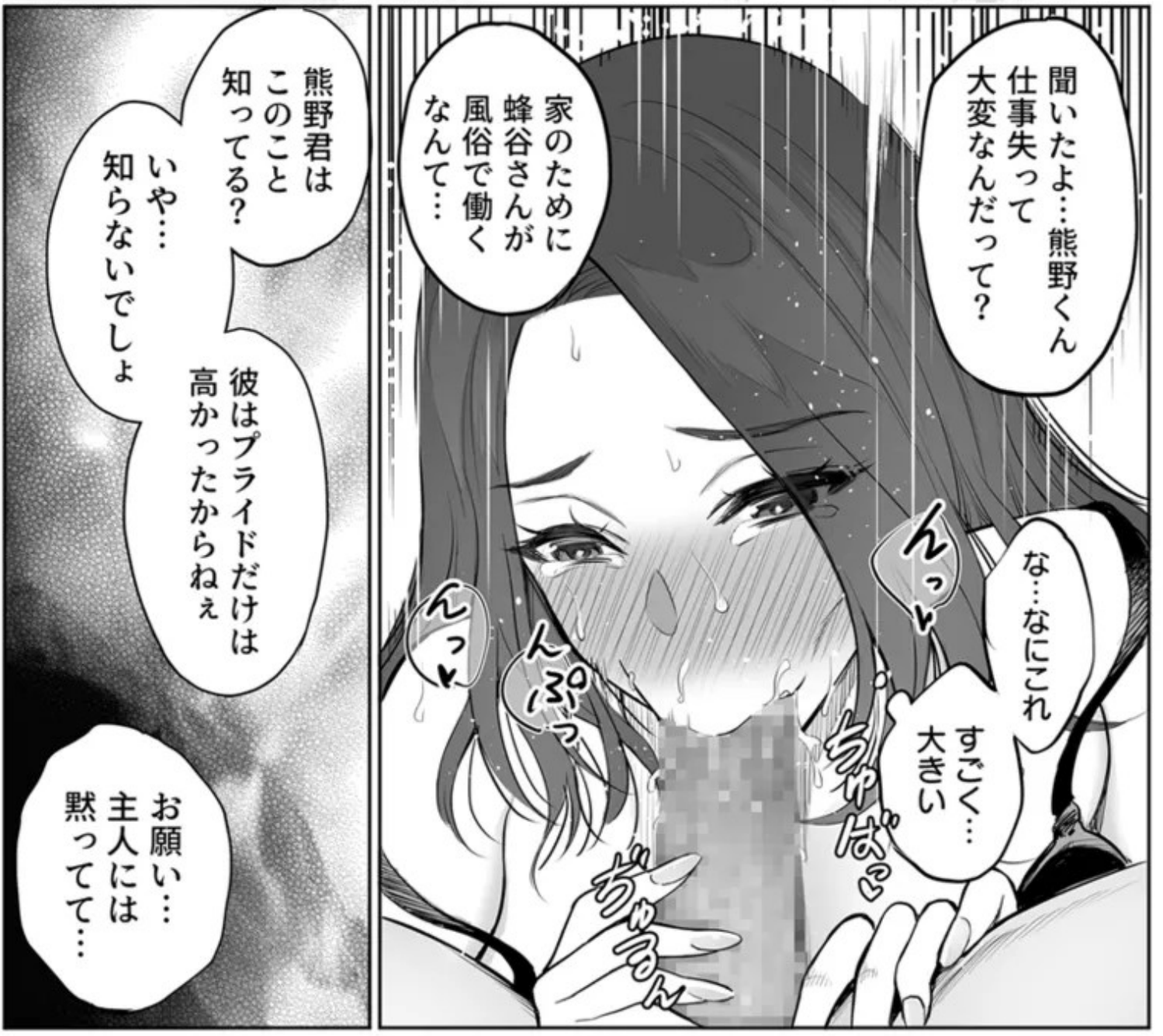
けどねぇ

ポロ…

いまはボク『お客様』なんですよ

ゲ？…

ぴく…
ああ…夢みたいだ…
はぁ
はっ
びくっ♡
まさか蜂谷さんにチ○コしゃぶってもらえるなんて…
んっ
んん…
ちゅっ♡


聞いたよ…熊野くん仕事失って大変なんだって？
家のために蜂谷さんが風俗で働くなんて…
な…なにこれ
すごく…大きい
んっ
ちゅぱっ♡
んっ
んぷっ
ぢゅるん
熊野君はこのこと知ってる？
彼はプライドだけは高かったからねぇ
いや…知らないでしょ
お願い…主人には黙ってて…

いいですけど…
代わりに
ゴムなしで
やらせて
くださいよ

だ…駄目に
決まってる
でしょ！
この店…
ゴム必着
なんだから

知ってますよ
そのくらい

まあいいですよ
どっちでも…
熊野くん
どんな顔
するのかなぁ

……
卑怯者…

う…

ビュ…

ビュッ

くっ

こ…今回だけよ…
これで主人には…
ぬゅるっ
わかってますよぉ
グフッ…
ついに…蜂谷さんと…
るるる
学生時代…大好きだった蜂谷さんと…
繋がるっ!!
な…なにコレ…
ぎっ
ぎちぎち
きゅるる
だめっ…大きすぎてこれ以上入らない…
はぁ…
あっ…
あ…ん
はぁ
んんっ
ぬゅるる
るるる

ああっ
じれったいい!!
全部
入れるぞぉ!!

ぶぴゅ
あ
あ
あ
あ

…ん?

え?
イったん
ですか?

娘一人産んだ
人妻がチ○コ
奥に挿れただけで
イったんですか?

あっ

あっ
ふっ

っあ

ビクン

ビク

ビク

ビク

もしかして…
蜂谷さん
あまりやり
慣れてない…?

とろ
とろ

たまらねぇ…
たまらねぇよ
蜂谷さんっ!!

!?

ま…まって
鮭川くん…

ぷりん

ぬちゅっ

ずちゅ

ぬちっ

あっ

ふぁあっ

んあっ

あっ

はあん

膣内の奥は
もう処女のような
もんじゃないですかぁ

ここは俺のもんだ…
俺だけのもんだぁ!!

だめっ
まって…

ぷるっ

ぷるん

ぷるん

これ以上
突き上げ
ないでぇ!!

どうですかぁ
ボクのチ○コ
大きいでしょ!?

あっ

ひぎぃ

ぐぢ
ぐぢ
ぐぢ
ぐぢ
ぐぢ

ゴッ
ゴッ
ゴッ

おふっ

ふっ

旦那じゃ届かない
奥の奥まで
犯してあげますよぉ!!

う…
まずは一発…

ハァ
ハァ

あっ…

んあっ

あぁっ

あっ

だめっ
膣内は…

子宮の奥に
ぶちまけて
やるっ!!

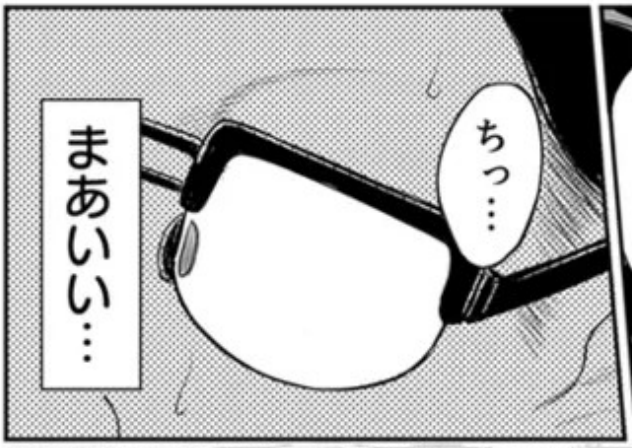
ビュッ
ビュッ

あっ
あっ…いぃ!!

ゴゴゴゴゴ
ゴゴゴゴゴ

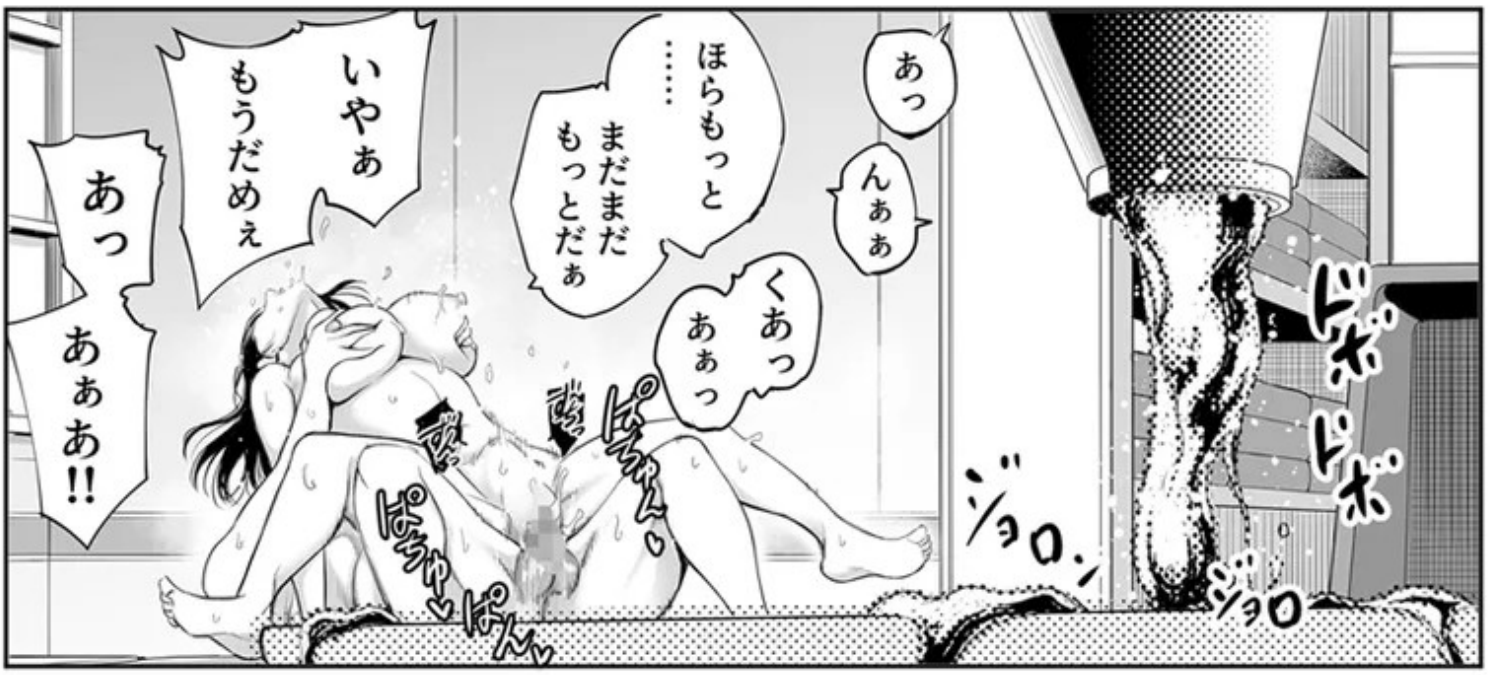
ハァ…
ハァ…
あ…
そ…
それでは
ハッ
ハッ
お風呂の準備します…
いや
そんなの
いいですよ
時間が限られてるんでね…
にゅぷぷ
キャあ
え!?
ちょ…
ちょっと
ウソでしょ?
ハメ倒してあげますよ
ぬっち
ぬっち
ぬっち
ま…まって
あっ
あっ
あっ
お願いっ
少し休ませて…

おっ
おぉ…すごい
人妻とは思えない膣のしまりだ…
ぬちゃ
ぬっちゃ
んっ
ふっ
はっ



今回はこの体を存分に味わってやる
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぎゅっ
んっ
んふっ
ふっ
ん
今回は…
…グフッ…

ドボン
ドボン
ふっ
んっ
ん…
ほらぁそんな声我慢しないでぇ
そんなだとボクもっと頑張りますよぉぉ〜
パン
パン
パン
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅん
んあっ
ふぁ
…あっ



あっああ…
イく
最後また
膣内にだすぞぉ
ぱちゅ♥
ぱちゅ♥
ぱん♥
ぱん♥
大丈夫…
後でピル飲めば
妊娠しないから
んっ
はぁ
くっ
ぱちゅ♥
ぱちゅ♥
ぱちゅ♥

おっ
おおぉ…
おっ
ビクン
どぴゅっ
びゅるるっ
ふっ
あ…
ふぅぅ…
久々に
絞りだしたぁ…
ポロン
トロー

あらぁ…

さすがに少しやりすぎたかなぁ…？

ふぁ

あっ

でも…まだ少し時間あるから

おっぱい使わせてもらいますねぇ…

ぷにぷにぷにぷに

ああぁ～凄いやわらかいぃ

ぎゅぎゅぎゅ

じゃあ時間来たからいきますね…

あ…見送りはいいからゆっくり休んでください

どうせもう立ち上がることもできないでしょ？

はぁ

はっ

はあ

とろ～ん…

トロ。

では見送りのキスを…

むちゅう

ちゅむ

グフフ…また来ますよ蜂谷さん…

ちゅぱ

ちゅぱん

いやぁ いい日だった
夕飯も 食ったし
一杯やって いくかな…

し…失礼します ヘルプで入らせて いただきます
はーい

グフッ しばらく あのネタで 楽しめるな…

ん？
カシャ カシャ
……この娘…
確か…
ど…どうぞっ

君…熊野の
娘さんでしょ？
確かJKの…
なにしてるの
こんな所で？
ガシャアン

うわぁぁ!!
きゃぁぁ
すいませんっ
オイッ
なにしてるんだ!!
ったくヘルプも
できんのか…
すいません
鮭川さん…
この娘
最近入った
ばかりで…
いや…
いいよ

それよりさ…
この娘に指名変更したいんだけどいい？
!?

あ…あの時の…お父さんの友達の人ですよね？
常連さんなんですか？
まあね…地元から少し離れてるから知り合いと会わないし…だから愛美ちゃんもここ選んだんでしょ？
わ…私は…その…
っ…!!
けどやっぱりJKが水商売はまずいよねぇ…

なんでキャバクラをしようと思ったの？

い…いまお父さん…お仕事無くなってて

お母さんがお昼にパートで頑張るらしいんだけど…

ソープだけどな…

わ…私もなにか手伝えないかと思って内緒で…

なるほどぉ偉いんだけどねぇ

店側はJK雇ってたってバレたら大問題だからねぇ…

警察に通報されて…両親…学校にも連絡が行って…

最悪…学校は退学処分…

クイッ

お…お願いですっどうかこのことは黙っててください!!

でもねぇ…
僕もこの店が
営業停止になるのは
困るしぃ…

んー

お…
お願いしますっ

……な…
なんでも…

なんでも
しますから…
それだけは…

ペロ

なんでも
かぁ…

じゃあ…
オジサンと
アフターしてよ

HOTEL

P

そして一つ
ゲームをしよう

あっ…

くちゅ

んぁ

くちゅ

はぁ

ちろ…

あっ

くちゅん

ああ…

くちゅ

ゲームの内容はこうだ…

ホテルに行っても本番はしないし指もいれない

ただお互いの性器をいじるだけ……

ちゅぱっ
れろろ
れろっ
れろ
ハッ
ハッ
ちゅぱっ

愛美ちゃんがイくより早くボクがイったらこの件は黙ってあげるよ…

けどもし愛美ちゃんが先に…

まって…嫌ですそんなの！

私…りょうくんともそんなことしたことないのに

へえ…カレシいるのか

そう…じゃあこの話は無しで店長に報告するだけだね

こんなことで退学だなんてお母さん悲しむだろうなぁ…

愛美…お母さん達は中退でとても苦労したから…

愛美はちゃんと学校を卒業してね…

ただチ○コをしゃぶるだけでいいのに…

やります…

んっ

んんっ

ぢぽっ

ぢゅるっ

ぢゅるっ

んっ

やらせてくださいっ

グフフッ…

昼に母親が咥えたチ○コを夜にその娘が咥えるなんて…

すげぇ贅沢じゃねぇか…

んぐっ

んっ

んんっ

ぢゅるるー

ううっ…気持ち悪い…

早く…早くイってよぉ…

はぁはぁ

がはっ

はっ

じゅる

じゅるっ

残念だが…昼に母親の膣内に散々出してきたんだ

もう感度も下がって簡単にはイかないだろうねぇ…

それに比べてこっちは未使用のぷにぷにま○こ

ぐぢゅ

ぐぢゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

ぐぢゅ

やる前から結果はわかってるんだよなぁ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

あっ…

あぁぁ～

あっ

はぁ…

ポタ…
ポタ
ねぇ愛美ちゃん まだイってないの？
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ぐりっ
ぐりっ
シーツがもう びちょびちょの 大洪水だよぉ…
はぁっ
んっ
んっ
んんっ
んぁっ
あっ
ああっ
イってない…
イってない からぁぁ…

なかなか 頑張る娘だけど もう限界 だろうなぁ…
ふぅっ
んふっ
んっ
ハァ
ハァ
自分がいま どういう体勢 なのかも理解して ないだろう…
せっかくだし… このままいただく とするか……
ぐぷ
ぐぷ
くちゅ

ぐにっ
ぐにぃ…
おおぉぉ…処女マ○コキツキツだなぁ…これ…
あっ…いた…
たすけ…て…
ぱっ
はーっ
ぐいっ
ぐいっ
みちっ
苦しい…
あっ…
かっ…
うぁっ
んっ
これじゃあ愛美ちゃんもツライでしょ？
ぎゅうう
ぎゅぅぅ
はぁはぁ
はぁ…
あっ
ぁぁ
んぁ…
大丈夫だよぉなじむまでゆっくり動いてあげるからね
ぎゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
うっ…うぅ…
あっ…
んっ…

ねぇあなた…
最近…愛美の帰りが遅いと思わない？
んー
彼氏もできたらしいし遊んでんじゃねーの？
まーいんじゃね
……またゲーム…
メールも返事ないし…
なにしてるのかしら……

あぁぁ…いいぞぉ
だいぶ膣内もほぐれてきたぁ
ぐふっ ほらっ 奥まで届く音聞こえるかい？
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
あっ
あっ
づっ
んあぁ
んあっ
んくっ
おっ
おぶっ
ゴッ
ブリ
ゴッ
あっ
あぁっ
ずちゅ
ずちゅ
ずち
ずち
愛美ちゃんも気持ちよくなったのかい？
いい声出してきたねぇ
ぶちゅ
ぶちゅ
ずちゅ
ずち
ぱんっ
ぱんっ
ぱちゅ
なるわけ…ない……
やだぁ…
やぁ…
あっ
あっ
あぁっ
いやぁ

ホラっ愛美ちゃん顔こっち…
いやぁぁ
顔近づけないでよ気持ち悪いっ
むちゅ〜
ぬぅぅ…
母娘そろって…コノヤロウ…
ぐっ…
いいだろう…では母親と同じように…
ひぎぃ
あっぅぁ
今はこの体を堪能してやるっ
ああぁ
たぷっ
ぷるっ
ぱんっ
ぐちゅ
ぱんっ
ぐちゅ
ぱんっ
ぐちゅ
ぱんっ

いやぁ…もうやだぁ…お母さん…うぁ…

おっとぉ抜けちゃったかぁ…

もうやめたいのぉ？

はっ

あっ

はぁっ

だばぁぁ

けどダメぇ～ざんねーん

ぐいっ

いやぁぁ

あっ

うぁ…ぁぁ

大丈夫…もうすぐ終わるよぉ

グフ…なにされるかわかるかい？

ぁ…やだぁ

あぁ！

いやっ

あっ

やだぁぁ抜いてよぉ!!膣内はぜったいイヤぁぁ!!

ぬぽっ

ぬっぷ

ぬちっ

ぬっち

ぬちっ

あっイく…

いっぱいだすぞぉ～

ぐぷっ

あっ…イくっ…
イっぐっ
うウうぅぅぅ
ぐぶっ…
ビクン
ビクン
ゴポポ
トロ…
ひぎっ…
ぐぅ…

ふふぅ
ぐふふ
カシャ
カシャ
カシャ
うぅ…
う…

いいぞぉ…
これはチャンスだ
あの男に…
学生時代の
復讐ができる…
見てろよぉ…
お前の大事なもの…
全部奪ってやるよ

母娘NTRフーゾク

（1）

著者　　有機リンゴ

発行　　FILL-IN

この物語はフィクションです。登場する人物・事件・団体・名称等は
架空であり、実在のものとは一切関係ありません。
収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、
発売当時のまま掲載しています。
本作品の一部あるいは全部を無断で複製・転載・配信・送信・放送・譲渡
またはアップローダーサイトに掲載する事を禁止します。
本作品の使用につきましては、あらかじめ弊社宛に許諾をお求め下さい。

©yukiringo/fill-in 2023